

支援プログラム

作成日:2026年4月1日

事業所名:TERASU

法人(事業所)理念	障がいの有無にかかわらず、一人ひとりの個性に光を当て、誰もが「自分らしく」いられる居場所をつくり、心・身体・社会のつながりを通して地域の中で生きる力を育む	営業時間	9時～18時
支援方針	子ども一人ひとりの発達特性を理解し、安心できる環境の中で「できた」「わかった」「伝わった」という成功体験を積み重ねる。 スポーツ療育(運動遊び・サッカー)を軸に、身体・情緒・社会性の発達を総合的に支援し、自己肯定感と主体性を育てる	送迎サービス	あり
特色	スポーツ療育(運動遊び・サッカー)を軸に、身体的アプローチ(発散・感覚統合)、精神的アプローチ(クールダウン・情緒安定)、社会的アプローチ(集団活動・関係性)を組み合わせ、心・身体・社会のつながりを育む支援を行う	活動形態	個別・小集団・中集団・集団
支援内容			
全体に関わる支援	視覚支援(スケジュール・見通し)、ポジティブ行動支援(PBS)、感覚統合を意識した環境設定を行い、安心して活動に取り組める環境を整える		
本人支援	健康・生活	来所から活動、クールダウンまでの流れを固定化し生活リズムの安定を図るとともに、着替えや排泄、準備等の身辺自立を支援する。活動後にはクールダウンの時間を設け、情緒の安定と自己調整力の育成につなげる	
	運動・感覚	運動遊びやサッカーを通して、目と手の協応、バランス、リズム、身体コントロールを育てるとともに、感覚特性に応じた支援を行う。活動の中で感覚統合を促し、自己調整力の基盤を育てる	
	認知・行動	視覚支援を活用し見通しを持たせることで状況理解を促す。運動や集団活動の中で「考えて行動する」経験を積み、ルール理解や行動の切り替え、自己調整力の向上を支援する	
	言語 コミュニケーション	個々の発達段階に応じたコミュニケーション手段(言語・ジェスチャー・カード等)を用い、意思表示や感情表現を支援する。遊びや運動を通じたやり取りの中で「伝わる体験」を積み重ねる	
	人間関係 社会性	小集団活動やサッカー等の運動活動を通して、順番やルール、役割を学びながら他者との関わり方を身につける。自然な関係性の中で社会性の基礎を育てる	
家族支援	定期面談、日常相談(対面・電話・アプリ他)	移行支援 地域連携支援	保育所等訪問支援、関係機関との連携
研修	社内研修および外部研修への参加を通して職員の専門性向上を図り、支援の質の向上と統一を目指す	主な行事等	季節行事、運動イベント、地域交流活動等を実施し、楽しみながら社会性や生活経験の向上につなげる